



SHIZUOKA × WORLD REPORT 2019

JICA海外協力隊 帰国報告会

2019年9月15日(日) 静岡県庁別館20階 第一会議室



主催
静岡県
独立行政法人 国際協力機構 中部センター



SHIZUOKA × WORLD REPORT 2019 JICA 海外協力隊 帰国報告会へようこそ！



本日は、静岡県にゆかりのある帰国後間もないJICA海外協力隊員を招き、現地での生活、成功体験や失敗談など、ホンネで語っていただきます。

ボランティアの一人ひとり、経験してきたことや感じたこと、一緒に過ごした人々は違います。21名の隊員には21のストーリーがあります。JICA海外協力隊として羽ばたいた隊員は、どのようにして信頼関係を築き、2年間の活動を終えたのでしょうか。

静岡での帰国報告会は、静岡県庁とJICA中部が共催で行う、全国でも類のない報告会です。2012年から毎年共同開催を続け、今回が8回目になります。協力隊を支え、応援し続けてくださる関係者の皆さまに、心からの御礼を申し上げます。

本日はどうぞ最後まで、お楽しみください。



山口 浪漫（ヨルダン/幼児教育）



竹下 ゆかり（ブラジル/日系日本語学校教師）

主催： 静岡県
独立行政法人 国際協力機構 中部センター
後援： 静岡市 静岡県教育委員会
静岡新聞社・静岡放送 中日新聞東海本社
協力： ふじのくに静岡・協力隊を育てる会
公益社団法人 青年海外協力協会 中部支部
静岡県JICAシニア海外ボランティア協会
青年海外協力隊静岡県OB会

● 青年海外協力隊 ● シニア海外ボランティア
 ● 日系社会青年ボランティア ● 現職教員特別参加制度

	A会議室	B会議室	C会議室
13:30	開会あいさつ		
	各教室へ移動		
14:00	ウガンダ／小学校教育 萩原 夏子 ●	ケニア／保健師 芦川 咲 ●	フィリピン／防災・災害対策 内藤 和義 ●
14:15	ベナン／コミュニティ開発 平尾 莉夏 ●	グアテマラ／栄養士 鈴木 遥 ●	ベトナム／品質管理・生産性向上 武藤 正 ●
14:30	パラグアイ／野菜栽培 太田 至 ●	ベトナム／障害児・者支援 勝又 一步 ●	ブルキナファソ／幼児教育 仁科 潤紀 ●
14:45	ブラジル／日系日本語学校教師 竹下 ゆかり ●	ベナン／コミュニティ開発 栗田 奈美 ●	ヨルダン／幼児教育 山口 浪漫 ●
15:00	質疑応答	質疑応答	質疑応答
15:10	休憩(15分) 【静岡県OB会 おもてなし隊】		
15:25	モロッコ／渉外促進 疋田 繁 ●	モザンビーク／理科教育 海野 貴央 ●	カメルーン／環境教育 加藤 和美 ●
15:40	ザンビア／PCインストラクター 津村 実 ●	エジプト／小学校教育 關野 真理 ●	フィジー／環境教育 川島 琢史 ●
15:55	ベトナム／日本語教育 浅野 鉄也 ●	エクアドル／小学校教育 矢部 航一郎 ●	ソロモン／環境教育 清水 梨沙 ●
16:10	質疑応答	質疑応答	質疑応答
16:20	懇親会準備	各教室へ移動	
16:30	報告者・OBと語ろう！ 懇親会	B会場 全体募集説明会(16:30～16:40) B・C会場 個別相談 (16:40～17:00) JICAスタッフに相談→ B会場(制度・応募方法等) 経験者に相談→ C会場(活動、生活等)【OB会 協力隊ナビ】	
17:00	閉会・記念撮影		

萩原 夏子 Hagiwara Natsuko

ウガンダ/小学校教育/青年海外協力隊

小学5年生に算数の授業を行っているところ



活動内容

ウガンダの村の小学校で4年生～7年生に算数・図工・体育の授業を行った。図工の授業は、現地の先生と共同で行ったものもある。教材がなく、1クラスの子供の人数が多いので、工夫して授業を考えなければならなかった。また、任地で多くの生徒の家に訪れたり、現地人と同じ生活をするので、私自身、彼らのコミュニティに受け入れてもらえ、彼らの文化や価値観を学ぶこともできた。

活動を終えて

今後は、ウガンダと繋がり、現地人の友達と国際協力活動が続けていくつもりだ。そして、日本の子供たちのいる教育現場にも、ウガンダでの経験を還元していこうと考えている。

現地での感動ストーリー

日々、現地の人々と同じコミュニティで生活をし、クリスマスやイースターなどの大事な日を祝ったり、嬉しいことや悲しいことを一緒に共有してきたことで、現地の人々に受け入れられ、多くの大切なことを学び、心動かされたこと。

平尾 莉夏 Hirao Rika

ベナン/コミュニティ開発/青年海外協力隊

食べ物を売る女性への衛生指導



活動内容

市役所の都市管理課に所属し、市内の小中学生やご飯を売っている女性に対して、手洗い指導など衛生に関する啓発活動を行いました。また日本とベナンの学校間文通や図書館での折り紙、図工教室の他、公民館での日本文化紹介イベントも実施しました。

活動を終えて

ベナンでの2年間を通して、今後も西アフリカの発展に貢献し続けたいと強く感じるようになりました。ベナンで学んだ、他人を真に思いやるということ、他人を理解しようとする努力をすること、そして常に楽観的でいれば必ずうまくいくことを信じて生きていきたいです。

現地でのサプライズストーリー

私と一緒に活動していた青年は、仕事を頼めばきっちりこなすけれど、基本的には言われたことをやるのみでした。そんな彼を近隣の隊員の手洗い啓発イベントに連れて行った日の翌日、「俺、手洗いの歌を作ったんだ」と恥ずかしそうに歌を披露してくれました。

太田 至 Ota Itaru

パラグアイ/野菜栽培/青年海外協力隊

栽培した野菜を使用した料理の試食会



活動内容

パラグアイ共和国にあるカアグアス市職業訓練学校の農牧科で生徒の基礎的な栽培技術の習得や実習中心の勉強をする機会を提供する為に同僚教員と協力して野菜クラブを設立・運営を行い、保健科で学校菜園の授業を行い、栽培知識の習得を目指しました。

活動を終えて

現在は、県立高校で講師として働きながら、進路の方向性について考えています。海外や農業に関わりながら、いろんな人の力になれるような道がないかを模索中です。

現地での面白ストーリー

誕生日に同僚の教員やその家族がサプライズで牛の頭を焼いてプレゼントしてくれました。はじめは、その豪快さに驚きましたが、頬肉や牛タンが日本では見たことがないくらい、大きいサイズでびっくりしました。とてもやわらかくて、おいしかったです。

竹下 ゆかり Takeshita Yukari

ブラジル/日系日本語学校教師/日系社会青年ボランティア

日本語学校の生徒と一緒に



活動内容

日系人が運営する日本語学校で日本語や日本文化を教えていた。5歳から60歳、学ぶ目的も様々な生徒達への指導にやりがいを感じた。また、運動会や忘年会などの行事にも参加し、日系社会の一員として「ブラジルの中の日本」にどっぷり浸かった2年間だった。

活動を終えて

活動で得た「今、自分に出来ることに全力で取り組む姿勢」を忘れずに生きていきたい。また、今後も日本語教師ボランティアを続けていきたい。そのためには勉強が必要！さらにポルトガル語の勉強も続け、何らかの場で活かしたり、ブラジルへ行く機会を掴んだりしたい。

現地での面白ストーリー

ある日7歳の生徒達が「先生！これ本当?!」と、日本の銭湯が描かれた絵本を持って来た。ブラジルには人と入浴する習慣がない。生徒達は「やだあ」と言いながらも、裸姿に興味津々な様子。「いつか一緒に行こうね♪」と言うと「いいえ！」という返事が返ってきた。

足田 繁 Hikida Shigeru

モロッコ/渉外促進/シニア海外ボランティア

第18回モロッコ日本語スピーチ コンテスト(2017年4月)



活動内容

日本語教育に関する評価基準策定。日本語教育に関連するイベント(スピーチコンテスト、日本語能力検定試験の実施)の企画及び実施運営の組織作り。共通評価基準の試案は作成するも、全国統一にまでは諸難所あり実現せず。イベントについてはNPO法人設立が現地人有志と共に作り上げることができ実施することができた。

活動を終えて

評価基準策定については後任の日本語講師の人たちと討議し継承をお願いした。自身も講師として活動しつつ、その問題点改善策等提案していきたい。イベント絡みのNPO法人の活動については、間接的な応援を日本から必要に応じ行いたい。

現地での感動ストーリー

大きくなったスピーチコンテスト、検定試験、など派遣JICAボランティアの日本語講師が慣れない任地で実施していたものを、日本語日本文化に興味のある現地人の方々と協力し、NPO法人設立し、イベントを実施運営できたこと。

津村 実 Tsumura Minoru

ザンビア/PCインストラクター/シニア海外ボランティア

ペーパーキーボードを使った授業



活動内容

職業訓練校で、機材の質・量とも不足、度々の停電など厳しい環境の中、コンピュータの基本操作・理論・構造、MSオフィスなどを生徒達に教えました。加えて、前任者が挑戦したものの挫折したと報告していたタッチタイピングも工夫をこらしながら取り組みました。

活動を終えて

仕事をリタイアした後、これが最後の働きと思ってシニア海外ボランティアに参加しました。派遣前訓練、現地訓練、活動中に多くの若い隊員と接し、日本の若者の溢れんばかりの元気・やる気に大いに感心しました。これなら、きっと日本の将来は安泰です。

現地での感動ストーリー

赤道は近いが、標高千メートル以上、夏涼しく、冬暖かく、温暖でとても過ごし易い。毎日、毎日、快晴が続くのが不思議でした。自然災害(地震、津波、火山噴火、洪水、台風)が無い。土地は広々として地平線が見える。恵まれた自然にただただ感動しました。

浅野 鉄也 Asano Tetsuya

ベトナム/日本語教育/シニア海外ボランティア

バクザン省外務局職員と しばし休息

活動内容

任務前半は、ベトナム北部のバクザン省で国際協力課の通訳育成や省職員の日本語教育等に携わりました。また、任務後半は、南部ホーチミン市オープン大学で、総合的な日本語教育レベルの向上を目指した活動(教師への指導・相談、学生の授業)を行いました。

活動を終えて

オープン大学での活動が1年3か月と中途半端になってしまったことが心残りでしたが、活動終盤に、大学側から、引き続いて働いてほしい旨の要請を受けました。これを受け、後任派遣(来年7月頃)までのつもりで、この7月より同大学で活動を続けています。

現地での面白風景

ホーチミン市の街角では、「ハノイのバインミー」、「ハノイのフォー」など、そこそこに「ハノイの」という一言がついた看板が目につきます。ベトナム第一の経済都市なのに、首都ハノイにコンプレックスがあるのかな、とつい勘ぐってしまいたくなる風景です。

小学5年生に図工の授業を 行っているところ



萩原 夏子 (ウガンダ/小学校教育)

野菜クラブの研修旅行



太田 至 (パラグアイ/野菜栽培)

土曜日夕方は図書館で折り紙教室



平尾 莉夏 (ベナン/コミュニティ開発)

オープン大学での会話授業風景



浅野 鉄也 (ベトナム/日本語教育)

芦川 咲 Ashikawa Saki

ケニア/保健師/青年海外協力隊

同僚達とマラリア予防の蚊帳配布



活動内容

保健事務所にて、現地人同僚のサポートを行っていた。予防接種事業では、ワクチンや母子手帳の配布、施設毎の接種率の管理。巡回診療事業では、診療トラックでへき地をまわり、マラリアやHIVのテスト、一般診療と薬剤の配布、子宮頸がん検診を行っていた。

活動を終えて

隊員を経験したことで、海外や外国人に対する視野が広がった。アフリカに関することや英語を使う仕事に巡り合うことができたり、海外で活動するボランティア団体の活動に参加したりと、国際交流を生活の一部として実践でき、日々の生活が充実している。

現地での面白ストーリー

現地の風習では、結婚する際に結納の儀式として、男性の家から女性の方に牛3頭を贈る。「Sakiと結婚するには何頭の牛を用意したらいい？」と聞かれたので「私の父親は100頭だと言っていたよ」と伝えたら「そんなに買えないよ！」と本気でショックを受けていた！

鈴木 遥 Suzuki Haruka

グアテマラ/栄養士/青年海外協力隊

家庭菜園で収穫した野菜を使って調理実習



活動内容

任地は、先住民のグアテマラの文化が色濃く残るキチエ県サカプラス市。市役所女性課で、女性支援の一環として、栄養・食生活改善に取り組みました。地場野菜の消費拡大と栄養基礎知識の普及を図るため、コミュニティを巡回し栄養講話や調理実習を行いました。

活動を終えて

ホストファミリーや同僚、地域の女性など、明るくて優しくておおらかなグアテマラの人達に支えてもらい2年間を終えることができました。グアテマラでお世話になった皆に会いに行くことを楽しみに、静岡で地域の栄養・食生活改善、健康増進のために働きます。

現地でのサプライズストーリー

食堂を運営するホストファミリーに任地の伝統料理の作り方を教えてもらうことになり、約束の時間に調理場に行ったら、大家さんはおらず、家の中を探したら、裏庭で鶏を捕まえていました。調理は、鶏を捕まえて絞めるところからスタートでした。

勝又 一步 Katsumata Kazuho

ベトナム/障害児・者支援/青年海外協力隊

ダナン市合同運動会開催！！



活動内容

ベトナムダナンにある障害児が通う学校が私の配属先でした。同僚と一緒に音楽、図工、体育等の授業を行ったり、個別指導では動作法を用いた授業を行ったりしました。日本の特別支援教育で大切にされている、一人一人の子供に寄り添った活動、支援を授業を通して伝えることができましたと思います。

活動を終えて

先月、夏季休暇を利用して4か月ぶりにベトナムに行ってきました。ちょっと前まで住んでいた場所に、旅行で行くのは変な感じがしましたが、元同僚やホームステイ先の家族にも会うことができました。細々とでも良いので、ベトナムでの繋がりを繋ぎ続けていきたいです。

現地でのサプライズストーリー

元々英語は苦手、ベトナム語も最後まで上達せず。それでも何とか2年を終え、最後は職場での最終報告。正式な報告会ではジャイカのスタッフが通訳も行ってくれるので一安心。と思っていたら、最後だけは英語通訳。。。会場で僕だけがあまり理解していない、僕の最終報告。。。。

栗田 奈美 Kurita Namí

ベナン/コミュニティ開発/青年海外協力隊

ゴミの分解クイズ



活動内容

私の任地は、ゴミの収集がなく、上水道も整備されておらず、ゴミのポイ捨てや日常的に濁っている井戸水や雨水を飲用水に使っていたので、ゴミ問題、簡易ろ過機の作り方などの啓発活動を小学校で行っていた。

活動を終えて

この2年間アフリカで暮らしたことで、現地の人から学んだことも多くあります。疲れたら無理に仕事をしない、何事にもポジティブにチャレンジすることなど、今後の仕事の中に生かしていきたいと思います。

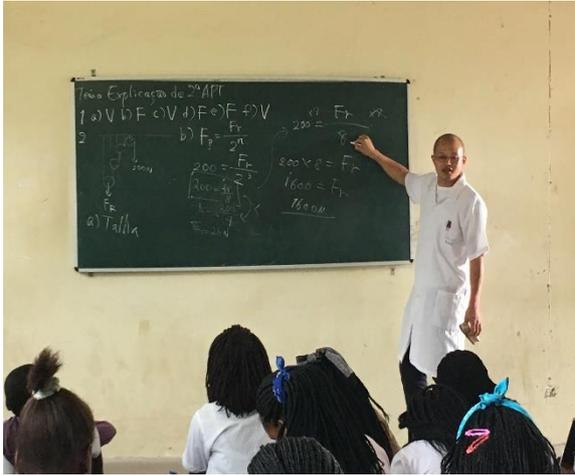
現地での面白ストーリー

ベナンでは、女の子は生まれてすぐ、ピアス用に耳に穴をあける習慣があり、小さい女の子も当たり前のようにピアスをつけています。私がピアスをつけていないのを見ると、男の子かと冗談で言われたりします。日本では、オシャレでつけると説明すると驚かれます！

海野 貴央 Unno Takao

モザンビーク/理科教育/青年海外協力隊

授業の様子(テストの解説)



活動内容

首都から約250kmのガザ州シサノで日本のODAで作られた学校に理科の一教員として授業をおこなった。また、実験教材の作成や、それを元に、シサノがあるリンポポ区の物理の先生方を集めての教材作成研修会をおこなった。

活動を終えて

現職参加として協力隊に参加した。したがって今後は教員として、生徒たちにこの経験や国際協力について伝えていきたい。特に資源が少ない日本にとって、海外に出ることがいかに重要なことかも話していきたいと考えている。

現地でのサプライズストーリー

首都で強盗?のようなものにあいそうになったが、現地語を話し、笑いあったら、取られた携帯がかえってきた。

關野 真理 Sekino Mari

エジプト/小学校教育/青年海外協力隊

一般校1年生の学級会の様子



活動内容

エジプトのギザのドッキ地区全11校の小学校で学級会の指導を先生方に指導することと、6校で全児童が楽しく運動できる体育を指導した。また全国に35校ある日本式学校で学級会の授業を見せたり、研修したりして、日本式教育について気付いたことをアドバイスした。

活動を終えて

小学校の教員を16年実践してから、2年間エジプトの生活や教育を見て、実際に体験してきたので、今後は、この2年間の経験を生かして、多文化共生社会の中で生き抜ける子どもたちを育てるために、様々なことに挑戦していきたい。また、地域や教員向けにも発信したい。

現地でのサプライズストーリー

要請内容としては、ギザのドッキ地区限定での活動ではあったが、調整員さんの発想と行動力で、全国35校の日本式学校にボランティアだけで訪問することが可能になり、さらに深く日本の教育について教えることができた。

矢部 航一郎 Yabe Koichiro

エクアドル/小学校教育/青年海外協力隊

学校でみんなといっぱい話をしたね！

活動内容

エクアドルの山岳地域にあるコタカチの教育省(日本の教育委員会に相当)に所属し、地域内にある小・中学校の教員に算数や数学の授業の仕方等をアドバイス。現場主義で子どもたちに授業し、算数・数学のみならず総合や英語、社会など幅広く扱ってきた。

活動を終えて

人のためになってきたというよりも、貴重な経験をさせてもらった2年間だったというのが第一印象。知見が広がった。今もすでに行っているが、今後は目の前にいる子どもたちに世界は広いゾ！・活躍できるフィールドは誰にでも必ずあるゾ！と、伝えていきたい。

現地での面白ストーリー

配属されてほどなく、学校現場で始業時間を過ぎて子どもたちを待たせ続けて教員たちが中身の薄い会議を続けることに業を煮やして「ここは学校。授業より大切な物なんてない！」と拙いスペイン語で気が付いたら必死に主張していた。それが転機でお客様でなくなった。



指使いを学ぶ
ポスターキーボード



津村 実 (ザンビア/PCインストラクター)

女性グループに栄養・健康講話



鈴木 遥 (グアテマラ/栄養士)

リンポポ区教員研修会



海野 貴央 (モザンビーク/理科教育)

教具にグループワーク
珍しい数学授業



矢部 航一郎 (エクアドル/小学校教育)

内藤 和義 Naïto Kazuyoshi

フィリピン/防災・災害対策/青年海外協力隊

イベントを終え同僚たちと一休み



活動内容

私が赴任したフィリピン中部パナイ島カリボ町役場の防災課は、町の防災行政全般と救急・救助出動の対応をする部署でした。同僚スタッフの災害対応能力向上のための講習の他、地域住民に向け「避難所運営ゲーム」や「着衣泳法」などの講習を行いました。

活動を終えて

町で一人だけの日本人という、超マイノリティの環境に身を置くことができたことは、とても貴重な経験でした。現地の人から受けた優しさを、今度は自分が日本に暮らす外国人に対して行っていけたらと思います。今後も、自分ができる国際協力の道を探していきたいと思います。

現地での感動ストーリー

太平洋戦争中、フィリピンは日本軍との激しいゲリラ戦を経験しました。そのため隊員の中には、高齢の方に握手を拒まれたという人もいました。しかし、私が知り合ったフィリピン人は皆「昔は色々あったけど、今の日本は友人だ！ Brother!!」と接してくれました。彼らの寛容さに感動しました。

武藤 正 Muto Tadashi

ベトナム/品質管理・生産性向上/シニア海外ボランティア

同僚、アシスタントと道端屋台で昼食



活動内容

ベトナム北部のハイフォン市で中小企業育成のため、11社の中小企業に対し、工場を定期的に訪問し品質・生産性向上に関する知識・技術を実践指導しました。指導したほとんどの企業で大きな成果が得られました。また、生産性向上に関するセミナーも行いました。

活動を終えて

指導した中小企業は、私が勤務経験のある化学品製造とは全く違う水産・畜産加工、食品製造などの分野の会社でしたが、まだまだ自分の持っている経験や知識が開発途上国の企業にとって役に立つことが分かりました。機会があればまた開発途上国へ支援に行きたいと思います。

現地での感動ストーリー

ベトナムでは、高齢者がバスに乗ってくると若者がさっと自分の席を譲ります。若者が気付かないと、車掌さんが高齢者に席を譲るよう促します。私もバスに乗った時には何度も席を譲ってもらい助かりました。とても素晴らしい習慣です。

仁科 潤紀 Nishina Jyunki

ブルキナファソ/幼児教育/青年海外協力隊

子ども達にとって初めての絵本



活動内容

ブルキナファソの首都近くにあるタンゲダスリという小さな村で活動していました。この村にある公立幼稚園を拠点にしながらか私立幼稚園や他の村の園にも巡回していました。活動内容は現地職員の技術の向上や日本保育の普及などを行っていました。

活動を終えて

2年間の思い返すと成功よりも失敗したり、悔しい思いをしたことの方が多く感じました。しかし、大きな達成感があり、貴重な経験をさせてもらったと思います。今後は日本で働こうと考えていますが、培ってきた経験を日本でも活かしていきたいと思っています。

現地での面白ストーリー

家から市場までは徒歩15分。普段は自転車ですが、散歩がてら歩いていきました。すると、普段よりも地域の人々とゆっくりと会話ができたり、飲み物を奢ってくれたり。名前も知らない人達ですが、この人の近さが素敵です。ちなみに往復4時間かかりました。

山口 浪漫 Yamaguchi Roman

ヨルダン/幼児教育/青年海外協力隊

運動会(お玉レース)



活動内容

NGOが運営する幼稚園で情操教育の普及を目的に、アクティビティの紹介や運動会の開催をしてきました。また、他の隊員と協力して先生達に向けたワークショップ(研修会)も行いました。

活動を終えて

現地での生活は、初めて知ることも多く経験を豊かにしてくれました。人の温かさに触れヨルダンという国の良さを知った一方、日本の良いところにも改めて気づくことができました。この経験を今後の人生に活かしていきたいです。

現地でのサプライズストーリー

イスラム教徒がほとんどのヨルダンでは、ラマダン(断食)があります。現地の人々は、ラマダンをお祭りのように考え、身体にはいいものと捉えています。毎日のご飯はとても豪華で、日の沈んでいる時間にはすごい量の食事をとることにびっくりしました！

加藤 和美 Kato Kazumi

カメルーン/環境教育/青年海外協力隊

活動先の子どもたち
とパシャリ！



活動内容

県の教育事務所に配属され、小学校や幼稚園で環境教育の実施とその普及が要請内容。子どもたちみんなで環境について考え、話し合い「自分たちで考える環境教育」を実施してきた。グループ学習を中心に観察、調査、新聞づくりなどを通じた授業を主に行った。

活動を終えて

「面白くて楽しい地理の授業をする先生」が将来の夢。今後は、広げた人脈とそこで見たもの感じたことを最大限に生かして、理想の先生を目指して時には机に向かい、時には現地に行き勉強に没頭します！

現地での面白ストーリー

昨日までカブトムシを蹴っていた子どもたちが、一緒に昆虫図鑑を見た次の日から、「マダムかじゅみ～！カブトムシの本がまた見たい!!」「かじゅみ！カブトムシ見つけたよ！」とカブトムシ好き少年に!!!!

川島 琢史 Kawashima Takumi

フィジー/環境教育/青年海外協力隊

環境教育隊員の勉強会のため、
首都スバ市のコンポスト場を視察



活動内容

廃棄物減量化戦略に沿った3R推進

- 1.住民対象(商店街や、野菜市場)の啓発活動、キャンペーンの企画、巡回、指導(分別収集への協力依頼など)
- 2.野菜市場から排出される廃棄物の削減(野菜ゴミのコンポスト化)
- 3.学校における環境教育活動への協力

活動を終えて

任期後半から再就職のことを考える時間が多くなった。任期中に進路が決まった隊員がいたり、自分自身の年齢を考えると、気持ちが焦ることもあった。帰国後はいろいろなところを旅行して、のんびりモードだったが、なんとか半年以内に就職が決まった。

現地での面白ストーリー

ホテルも電気もない小さな離島にある村を訪問。住民に「昼ごはん食べたの？」と話しかけられ、「まだ…」と応えると家に招待され、ごちそうしてくれた。おまけにその日は家に泊めてくれて、居心地の良さに結果的に3日間滞在。その後も何度か訪問し、交流を続けた。

清水 梨沙 Shimizu Risa

ソロモン/環境教育/青年海外協力隊

現地新聞記事
(世界環境デー)

Japanese volunteer hosts environment day in style



活動内容

ソロモン諸島のサンタイザベル島にて環境教育(廃棄物管理)を行った。初代ボランティアとして派遣され、2年間予算がなかったものの、ペットボトルのゴミからピアスを作りマーケットで売り、68個ものゴミ箱を学校に寄付を行った。

活動を終えて

- ・お世話になった方々への恩返し
2年間においてソロモンの人はもちろん、日本で支えて頂いた方に対してできる範囲で恩返ししていきたい。
- ・新しい進路の開拓
日本での生活を改め、新しいことにチャレンジしていきたい。

現地でのサプライズストーリー

任地ではあまり肉が手に入らないため、海ガメを食べる習慣があった。いつものように砂浜を歩いていたら、狩られたばかりのジュゴンが横たわっていた。住んでから肉の貴重さを知った私は、頭ごなしにダメと言えなくなっていることに気付いた30歳の誕生日だった。

小学生向けに日本文化紹介のイベント



内藤 和義 (フィリピン/防災・災害対策)

工場の現場で改善の実地指導



武藤 正 (ベトナム/品質管理・生産性向上)

配属先での最終活動報告を終え、町長から労いの言葉をいただいた。



川島 琢史 (フィジー/環境教育)

海洋生物調査の際の海中ゴミ拾い



清水 梨沙 (ソロモン/環境教育)

本日まで出席いただいている企業様一覧

- **有限会社 ハニーポニック 【業種:農業】**
〒422-8072 静岡市駿河区小黑2丁目5番10号
URL: <http://www.amela.jp/>
- **サンエムパッケージ株式会社 【業種:製造】**
〒428-0009 静岡県島田市大代1086-1
URL: <https://www.san-m.co.jp/>
- **ビューテック株式会社 【業種:製造業等】**
〒471-8522 愛知県豊田市梅坪町9-30-3
URL: <https://www.vuteq.co.jp/>
- **株式会社 鈴工 【業種:機械製造業】**
〒516-0001 三重県伊勢市大湊町656
URL: <https://www.suzuko-inc.com/>

劇団公演
(環境と衛生について)



ゴミ箱の中身は？の調査中



加藤 和美 (カメルーン/環境教育)

学級会で自分の考えを
ワークシートに記入



關野 真理 (エジプト/小学校教育)

本日16:30から
募集説明会&個別相談
を実施します！
ぜひご参加下さい♪

いつか世界を変える力になる。

青年海外協力隊 シニア海外協力隊

(20歳～69歳)



いつか世界を変える力になる。

青年海外協力隊

シニア海外協力隊

2019年 秋募集
応募受付中

応募
期間 8/20▶9/29





JICA静岡県デスクの紹介



静岡県から世界へ。

地域の窓口として、県内の国際協力に関する情報発信やJICAに関するご相談、出前講座や各種イベントの開催を行っています。



皆さん、こんにちは！
静岡県デスクを担当しています、
国際協力推進員の山口実香と申します。

私も青年海外協力隊として、ガーナで「感染症・エイズ対策」という職種で活動していました。

JICA海外協力隊の応募に関するご相談はもちろん、海外に興味がある方、JICAについてもっと知りたいという方は、お気軽にご連絡いただけたらと思います。どうぞ、よろしくお願いいたします！

静岡県デスク

住所： 静岡市駿河区南町14-1
水の森ビル2階
静岡県国際交流協会内
電話： 054-202-0931
FAX： 054-202-0932
メール： jicadpd-desk-shizuokaken@jica.go.jp



JICA静岡県デスクのFacebookでは、
県内イベントやJICA関連の情報を
随時掲載しています！
ぜひフォローしてください♪

